

地域福祉を推進するための交流、体験学習、実習生、研修生の受入事業

地域福祉の推進を目的に、児童・生徒の交流・体験学習や学生・社会人の実習・研修の受け入れを積極的に行っている。幼稚園・保育園児と老人ホーム入居者との交流は、なごやかな雰囲気を醸し出し、小中学生の体験学習では福祉の関心も高まり、福祉に対する問題を解決する態度を育てている。市内の学校とは3ヶ月前に協議し受入計画を立て実施している。

社会福祉法人 **シャローム埼玉** 〒350-0262 埼玉県坂戸市大字新堀1番地1
TEL: 049-282-4590/FAX: 049-282-2180

◆法人の概要

法人設立年：平成10年1月

経営施設、事業（数）：2施設

経営施設、事業（種別）：

- (1) 介護老人福祉施設…1事業
- (2) 通所介護事業所…1事業
- (3) 短期入所生活介護事業所…1事業
- (4) 認知症対応型共同生活介護事業所…1事業
- (5) 居宅介護支援事業…1事業
- (6) 訪問介護事業所…1事業

◆法人の理念・経営方針

「平安」(shalom)

- (1) 質の高いサービス
- (2) 地域福祉の推進
- (3) 職員資質の向上
- (4) 自律的経営の強化

◆実施施設の概要

施設名：シャローム・ガーデン坂戸

施設種別：特別養護老人ホーム 定員50人

活動開始年：平成11年

活動の頻度・時間：随時

活動の対象者：地域の学生・社会人

活動実施の背景、実施にいたった理由

少子高齢化社会が進む中で家族の単位も変化して来た。高齢者のみの家族、2世帯までの家族が多くなり、高齢者との交流の機会のごく狭められてきている。そうした中で、子供達の教育的な面と介護現場の将来を考慮して、交流の機会を増やすこととした。また、多くの若い人たちを受入れることで、ともすれば閉鎖的に成りやすい介護施設を開放することになり、地域の施設への理解や協力も深められるものと考えた。

実施内容

地域福祉を推進するため、

- ① 地域福祉の拠点施設として地域に密着したサービスの実施。
- ② 福祉、保健、医療の連携と地域交流の推進。
- ③ 地域の福祉人材育成を図るため、訪問介護員（2級）養成研修会を7回実施し、111人を養成。
- ④ ボランティアの養成及びボランティアの受け入れ。
- ⑤ 児童・生徒の交流・体験学習や学生・社会人の実習・研修の受け入れ。

交流・体験学習・実習生・研修生受入状況

年度	幼稚園、保育園交流、小・中学生体験学習	高校・専門学校・大学・社会人実習・研修	摘要
15	622人	46人	○交流・体験学習生 市内幼稚園（1園）、市内保育園（1園） 市立小学校（8校）、市立中学校（7校） ○実習・研修生 県立高等学校（3校）、NHK学園、 県立職業能力開発センター 介護労働安定センター 看護専門学校並びに福祉専門学校 教員免許取得学生 市立小・中学校教員 他
16	802人	72人	
17	503人	159人	
18	274人	153人	
19	398人	242人	

活動効果

学校においては、福祉教育、ボランティア教育が位置づけ実施され、さらに体験学習としての企業、施設等に受入要請がある。

幼稚園・保育園児と老人ホーム入居者との交流は、なごやかな雰囲気を醸し出し、小中学生の体験学習では福祉の関心も高まり、福祉に対する問題を解決する態度を育てている。福祉、看護の専門学生は教科の実習として熱心に取り組み、大学生、社会人は資格を得るため、あるいは福祉を理解する為に励んでいる。

こうした方々の支援も地域福祉を推進する上で大切なことから積極的に受け入れている。体験学習や実習生の希望も多いことから、市内の学校とは3ヶ月前に、専門学校等とは一年前に協議し受入計画を立て実施している。

今後の課題

生活の場としてある、静かな老人ホームが子どもや実習生を大勢受け入れることは、施設としても、職員としても、とても気を使い大変なことであるが、職員の意欲・関心も高まり、自信にもなり、良い効果が出ていると認識している。同時に地域の方々の福祉拠点施設としての位置づけにもつながる。

ただ、外部の人達が大勢来所することにより、利用者への配慮が求められるとともに対応する職員は、ベテランの相談員を配置している。指導にあたる職員にはより高い内容の研修会に出席するなど人的配置に苦慮している。同時に施設内での衛生管理、入所者の個人情報管理など配慮すべき事項も多い。

総合的に判断して、地域福祉を推進するための児童、生徒、学生、社会人の受け入れは、利用者への若い力による刺激となっているばかりか、施設運営にとっても、職員のモチベーションを高めるためにも意義のあることから、今後も継続していく所存である。

